

こども園の定員変更について（案）

資料1-1

【協議事項】各こども園について、入園状況等を勘案して定員変更を行う。

（単位：人）

施設名	定員数等	1号			2号			3号			合計
		3歳	4歳	5歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	
本荘こども園	現行	1	2	2	18	18	18	6	12	18	95
	変更後	1	2	2	16	16	16	5	12	15	85
	比較増減	0	0	0	△ 2	△ 2	△ 2	△ 1	0	△ 3	△ 10
金津東こども園	現行	1	2	2	14	14	14	2	7	9	65
	変更後	1	2	2	14	14	14	1	3	4	55
	比較増減	0	0	0	0	0	0	△ 1	△ 4	△ 5	△ 10
増 減 数		0	0	0	△ 2	△ 2	△ 2	△ 2	△ 4	△ 8	△ 20

令和5年度区域毎の定員等について（案）

（下線部：定員数変更箇所）

資料1-2

区域	施設名	R5. 3. 1見込（現行定員）			R6. 3. 1見込（変更後定員）		
		定員数	児童数	充足率	定員数	児童数（比較）	充足率
芦原	芦原こども園	100	84	84.0%	100	93	93.0%
	善久寺こども園	53	51	96.2%	53	53	100.0%
	あわら敬愛こども園	65	76	116.9%	65	75	115.4%
	小計	218	211	96.8%	218	221	101.4%
本荘・新郷	<u>本荘こども園</u>	95	97	102.1%	<u>85</u>	85 (△ 12)	100.0%
北潟・波松	北潟こども園	45	41	91.1%	45	41	91.1%
金津	金津こども園	140	132	94.3%	140	128	91.4%
	白藤こども園	65	81	124.6%	65	76	116.9%
	妙安寺こども園	65	78	120.0%	65	73	112.3%
	いちひめこども園	80	83	103.8%	80	86	107.5%
	小計	350	374	106.9%	350	363	103.7%
伊井	伊井こども園	65	61	93.8%	65	62	95.4%
金津東	<u>金津東こども園</u>	65	65	100.0%	<u>55</u>	51 (△ 14)	92.7%
細呂木・吉崎	細呂木こども園	65	66	101.5%	65	60	92.3%
計		903	915	101.3%	<u>883</u>	883 (△ 32)	100.0%

1 教育・保育事業の提供

平成27年度から開始された子ども・子育て支援新制度では、保護者の就労状況等からみる「保育の必要性」に応じて「認定」しています。以下の「認定区分」に応じて利用できる施設や利用できる時間が決まっています。あわら市では以下のように認定しています。

■認定区分と提供施設

認定区分		利用できる施設	利用できる時間
1号	3～5歳、保育の必要性なし（教育を受ける）	認定こども園	6時間
2号	3～5歳、保育の必要性あり	認定こども園	8時間
3号	0～2歳、保育の必要性あり	認定こども園	11時間

■教育のみ：1号（3～5歳児で、認定こども園を利用する子ども）

単位：実利用人数（人）／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み (必要利用定員総数)	19人	19人	令和3年度は達成度が高い。近年の出生数や実績人数等（R2：41人、R3：39人、R4：27人）の減少傾向を鑑みると令和4年度は低くなる見込みであり、今後の達成度は100%に近づくと見込まれる。 令和3年度に一部の園が定員を見直している。
②確保の内容	20人	20人	
②-①	+1人	+1人	
③実績・見込	39人	27人	
③-②	19人	17人	
達成度 ③/②	195%	135%	

■保育の必要あり（0～5歳児で、認定こども園を利用する子ども）

単位：実利用人数（人）／年間

	令和3年度			令和4年度			達成度に対する意見
	2号	3号		2号	3号		
	3～5歳	0歳	1～2歳	3～5歳	0歳	1～2歳	
①量の見込み (必要利用定員総数)	522人	108人	318人	522人	108人	318人	出生数の低下により達成度は減少傾向である。 一部の園については定員変更を行っており、今後も見直しが必要になると見込まれる。
②確保の内容	530人	110人	330人	530人	110人	330人	
②-①	+8人	+2人	+12人	+8人	+2人	+12人	
③実績・見込	531人	98人	301人	511人	85人	290人	
③-②	1人	-5人	-22人	-7人	-25人	-40人	
達成度③/②	100%	89%	91%	96%	77%	87%	

2 地域子ども・子育て支援事業の提供

(1) 地域の保育事業の実施

■ 延長保育事業（2号、3号対象者の時間外保育事業）

保護者の就労形態の多様化に対応するため、通常の開所時間を超えて保育を行う事業

単位：実利用人数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	400人	400人	すべてのこども園で事業を実施しており、認定時間（短時間、標準時間）内に迎えに来ることができなかった園児に対し、通園している園で延長保育を提供することで、保護者が安心して仕事と子育ての両立が出来るよう支援した。
②確保の内容	420人	420人	
②-①	+20人	+20人	
③実績・見込	496人	394人	
③-②	76人	-26人	
達成度 ③/②	118%	94%	

■ 子育て短期支援事業

保護者が疾病等の身体上若しくは精神上、環境上の理由により、緊急一時的に子を保護することが必要な場合に実施施設において短期間預かる事業

単位：延べ利用日数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	3人日	3人日	県内の児童養護施設（2か所）と乳児院（1か所）に委託している。 令和3年度利用実績は0人だが、事業の周知を行い、必要な人が利用できるよう関係機関と連携していきたい。
②確保の内容	10人日	10人日	
②-①	+7人	+7人	
③実績・見込	0人日	3人日	
③-②	-10人日	-7人日	
達成度 ③/②	0%	30%	

■ 地域子育て支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業

単位：延べ利用回数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	6,800人回	6,800人回	新型コロナウイルス感染拡大状況により、市民優先の利用や人数制限を行ったため利用者は減少しているが、達成度は高い。今後も、乳幼児を持つ親とその子が気軽に集い、安心安全に利用できるよう、感染防止に努めながら運営していきたい。
②確保の内容	7,000人回	7,000人回	
②-①	+200人回	+200人回	
③実績・見込	11,349人回	8,000人回	
③-②	4,349人回	1,000人回	
達成度 ③/②	162%	114%	

■ 預かり保育事業（1号対象者）

家庭において保育することが一時的に困難となった幼児について、認定こども園で一時的に預かる事業

単位：延べ利用日数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	47人日	45人日	すべてのこども園で事業を実施し、保護者の事情に合わせて受入れできる体制を整えている。 家庭の状況により利用する家庭が多く達成度が高い。園の受け入れ体制は整っており、保護者が安心して児童を預け、その事由に対処することができた。
②確保の内容	50人日	50人日	
②－①	+3人日	+5人日	
③実績・見込	415人日	281人日	
③－②	365人日	231人日	
達成度 ③/②	830%	560%	

■ 一時預かり事業

家庭で養育している保護者が疾病や私用などで養育できない場合に、認定こども園と委託事業者で一時的に預かる事業

単位：延べ利用日数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	1,550人日	1,550人日	認定こども園全園で開所日に実施している。また、シルバー人材センターに委託して実施するすみずみ一時預かりサポート事業は、休日にも対応できる体制である。児童数の減少や低年齢からの入園により低い達成度であるが、保護者が必要時に安心して預けられるサービスを提供することで、子育てしやすい環境を整えることができた。
②確保の内容	1,600人日	1,600人日	
②－①	+50人日	+50人日	
③実績・見込	959人日	770人日	
③－②	-641人日	-830人日	
達成度 ③/②	59.9%	48%	

■ 病児・病後児保育事業

病気療養中や病気回復期の児童を保護者が保育できない場合に、病院等において一時的に保育を行う事業

単位：延べ利用日数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	400人日	400人日	保護者の利便性を高めるため、市内1施設と市外8施設で受入れ体制を整備している。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け利用者は減少している。
②確保の内容	680人日	680人日	
②－①	+280人日	+280人日	
③実績・見込	445人日	377人日	
③－②	-235人日	-303人日	
達成度 ③/②	65%	55%	

(2) 放課後子どもクラブ事業の実施

■学童保育

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後の居場所を提供し児童を預かる事業

◎小学校低学年◎

単位：実利用人数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	325人	328人	市内8ヶ所で開催しており、放課後に預かりを必要とする児童については受入れが来ている。 引き続き安心して預けられる環境を整えていきたい。
②確保の内容	355人	355人	
②-①	+30人	+27人	
③実績・見込	351人	345人	
③-②	-4人	-10人	
達成度 ③/②	99%	97%	

◎小学校高学年◎

単位：実利用人数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	80人	80人	市内8ヶ所で開催しており、達成度は151%と高く年々利用希望者が増加している。実際の利用においては、途中で利用を辞める児童が多く、3月の利用状況では88%となっている。 利用人数に応じた支援員の体制を整備し、安全に預かる環境にしている。
②確保の内容	100人	100人	
②-①	+20人	+20人	
③実績・見込	151人	184人	
③-②	51人	84人	
達成度 ③/②	151%	184%	

(3) 健康にかかわる保育事業の実施

■乳児家庭全戸訪問事業

生後4ヶ月までの乳児のいる家庭を訪問し、発育・発達の確認と育児相談を行う事業

単位：実利用人数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	170人	170人	全ての乳児に対して生後4か月までの育児指導が実施できているが、出生数の低下により達成度は低くなっている。一部、訪問を希望しない家庭については、保健センターで月2回実施しているベビーサロンにおいて、対面で成長発達の確認と育児指導を行った。 引き続き、全戸訪問を実施し、いつでも相談できる体制や関係づくりに努めていく。
②確保の内容	200人	200人	
②-①	+30人	+30人	
③実績・見込	137人	140人	
③-②	-63	-60	
達成度 ③/②	68.5%	70%	

■養育支援訪問事業

特に支援が必要な家庭に対し、保健師等が継続して専門的相談支援をする事業

単位：実利用人数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	6人	6人	対象家庭に対し、保健師等が継続して相談支援を行うとともに、母子保健事業等を通して継続的に支援を行った。 引き続き、妊娠届出時の面接や医療機関等関係機関との連携により要支援者の把握に努め、要支援者に寄り添った継続的な支援を行っていく。
②確保の内容	10人	10人	
②－①	+4人	+4人	
③実績・見込	3人	4人	
③－②	-7	-6	
達成度 ③/②	30%	40%	

■妊婦健診

妊娠期における一般健診14回分、特別な検査4回分を助成する事業

単位：延べ利用回数／年間

	令和3年度	令和4年度	達成度に対する意見
①量の見込み	1,950人回	1,950人回	令和3年度の妊娠届出数は150件であり、一人当たり14回分の妊婦健診を交付する他、令和3年からは多胎妊婦に対して5回分の追加助成をしている。 妊娠届出者数は見込みに近かったが、受診回数が14回に至らない者や転出者がいたため、実際は下回った。 引き続き、若年妊婦などの特定妊婦が適切な時期に健診を受けられるよう支援していく。
②確保の内容	2,000人回	2,000人回	
②－①	+50人回	+50人回	
③実績・見込	1,624人回	1,820人回	
③－②	-376	-180	
達成度 ③/②	81.2%	91.0%	

(4) 母子保健分野における目標値と実施方針

■母子保健分野

	令和3年度		令和4年度		実績等に対する意見	
	目標	実施率	目標	見込		
新生児訪問実施率	100%	100% →	100%	100%	新生児訪問や定期予防接種は目標を上回ったが、その他の項目では下回っている。 コロナ禍においても対象者が安心して参加できるよう工夫して事業を行うとともに、母子保健に関する指導や相談については、今後も個別対応、パンフレットの配布、広報紙への掲載等を通して継続的に行っていく。	
乳児健診受診率	97%	95.0% ↓	98%	98%		
1歳6か月児健診受診率	100%	99.4% ↓	100%	100%		
3歳児健診受診率	100%	97.7% ↓	100%	100%		
定期予防接種接種率	95%	98.9% ↑	95%	99%		
むし歯のない3歳児の割合	95%	91.9% ↓	95%	95%		
育児期間中の父親の喫煙率	20%	35.3% ↓	20%	30%		
子どものかかりつけ医をもつ親の割合(3歳児)	内科	80%	72.6% ↓	85%		80%
	歯科	35%	25.5% ↓	40%		25%
育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	80%	68.9% ↓	85%	70%		